

## 2011 年度大学入試センター試験 解説〈世界史B〉

第1問 世界史上のメディアについて (配点 25)

A

問1  1  2が正しい。

aのアレクサンドリアの建設はアレクサンドロス大王の東方遠征中の前331年。bのアラブ人によるエジプト征服は、第2代正統カリフのウマルの時代の642年。cのプトレマイオス朝の滅亡は前30年。したがって、年代の順番はa→c→bとなる。ヘレニズム時代はアレクサンドロス大王の東方遠征から始まり、プトレマイオス朝の滅亡によって終わる。その後、エジプトはローマの領土となり、ローマ帝国の東西分裂後は東ローマ(ビザンツ)帝国が支配し、7世紀にイスラーム世界に組み込まれるという流れを確認しておきたい。

問2  2  2が正しい。

空欄アには奴隸、イにはコロヌスが入る。ラティフンディアからコロナトゥスへの変化はローマ史の基本事項である。ローマの征服戦争で獲得された捕虜などの奴隸を大量に使って、オリーブやブドウなどの商品作物を生産するラティフンディアが広まったが、「ローマの平和」に伴う奴隸供給の減少や奴隸労働自体がもつ非効率性により、しだいに小作人のコロヌスに土地を貸すコロナトゥスへと切り替わっていった。①イ・③アのヨーマンはイギリスの独立自営農民の呼称。③イ・④イのユンカーはプロイセンの地主貴族の呼称である。

問3  3  1が誤り。

年代が2世紀であることはリード文に示されており、これ以降の作品を選べばよいが、いずれにせよ、年代が最も新しいものが正解となる。①のアウグスティヌスの『神の国』は5世紀前半に書かれた作品。②のヘロドトスの『歴史』は前5世紀、③のホメロスの『イリアス』は前8世紀頃、④のポリビオス(ポリュビオス)の『歴史(ローマ史)』は前2世紀。①のアウグスティヌスは代表的な教父であり、『神の国』はキリスト教護教論である一方、②～④はいずれもキリスト教成立以前の作品である。

B

問4  ③が正しい。

③の**価格革命**により、西ヨーロッパでは商工業の発展が促進され、東ヨーロッパでは西ヨーロッパへの輸出用穀物を生産する**農場領主制**（グーツヘルシャフト）が普及した。したがって、①の農場領主制（グーツヘルシャフト）の普及の年代は正しいが、エルベ川以西の西ヨーロッパではなく、エルベ川以東の東ヨーロッパが正しい。②の第1次囲い込みの進展も年代は正しいが、牧牛ではなく牧羊である。④のロシアにおける**農奴解放令**は1861年で年代が大きく異なる。クリミア戦争に敗れた**アレクサンドル2世**によるロシアの近代化改革の一環である。

問5  ④が正しい。

a・bともに誤文。aの**グーテンベルク**の**活版印刷**の実用化は13世紀ではなく、**15世紀半ば**のことである。これは書物や印刷物の普及に大きく貢献し、16世紀前半の**マルティン＝ルター**による**宗教改革**の際にも、ルターの思想を広めるのに絶大な効果を発揮した。bの**蔡倫**による製紙法の改良自体は正しいが、蔡倫は秦ではなく**後漢**の人物である。その後、製紙法は751年のタラス河畔の戦いでアッバース朝に敗れた唐の捕虜を通じて、イスラーム世界に伝わった。

問6  ⑤が正しい。

aの**チャールズ1世**の**処刑**は**1649**年。bの**クロムウェル**による航海法の発布は**1651**年。cの**権利の請願**の提出は**1628**年。したがって、c→a→bの順になる。正確な年号を記憶していなくても、17世紀のイギリス政治史の基本的な流れがわかっているならば正解できる設問である。**権利の請願**を一度は承認した**チャールズ1世**は、その後これを無視し、1629年から40年まで議会を開かず、42年に**ピューリタン革命**が始まった。この過程で**クロムウェル**が指導する独立派が独裁体制を確立し、49年に**チャールズ1世**を処刑したことで共和政が成立した。次いで、51年にオランダに打撃を与えるために航海法が発布された。

C

問7  ①が正しい。

①のモールスは1837年に電信機を発明した。そして早くも51年にはドーヴァー海峡、66年には大西洋横断の海底電信ケーブルが敷設された。②無線電信はマルコーニが1895年に発明した。アークライトは水力紡績機の発明者。③アメリカ合衆国でのラジオ放送の正式な開始は1920年。④のインターネットの普及は20世紀後半。インターネットの前提となるコンピュータは、第二次世界大戦中に研究が進んだ。

問8  ③が誤り。

③の義和団は「扶清滅洋」を唱えた。「滅満興漢」を唱えたのは太平天国である。義和団事件で清朝が義和団に同調して列強に宣戦し、敗れて中国の半植民地状態がさらに進んだことを想起したい。①の「マニフェスト＝デステニー（明白な天命）」は、西方への領土拡大は合衆国が神から授けられた運命であると主張するものである。②の「スワデーシ」、「スワラージ」に「英貨排斥」、「民族教育」を加えた4綱領は、1906年の国民会議派カルカッタ大会で採択された。④の「グラスノスチ」は「情報公開」の意味。

問9  ②が正しい。

②のマダガスカルは、アフリカ分割に関するベルリン会議（1884～85年）でフランスの勢力範囲とされ、1896年に領有が宣言された。①のイランのタバコ＝ボイコット運動でタバコに関する独占的利権が与えられたのはドイツ人ではなく、イギリス人の商人である。この運動の結果、問題の独占的利権は廃棄された。③のスーダンを支配したのはイタリアではなくイギリス、④のシパーヒーの反乱はオランダではなくイギリスの支配に対抗して起こった。

## 第2問 世界史上の宗教について（配点 25）

A

問1  ③が正しい。

aは誤文、bは正文。aの『アヴェスター』はマニ教ではなくゾロアスター教の経典。ササン朝ではゾロアスター教が国教とされ、その現存する経典の『アヴェスター』はササン朝時代に編纂された。bのウラディミル1世はキエフ公国の君主＝キエフ大公（位980頃～1015年）で、ビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教に改宗した。ロシアはビザンツ帝国から大きな文化的影響を受けていた点を押さえない。

問2 11 ①が正しい。

①のコロンブスは、1492年にイサベル女王の援助を受け、西インド諸島のサンサルバドル島に到達した。②のトルデシリャス条約の結果、ブラジルはポルトガルの勢力圏とされたので、すべてがスペイン領になったわけではない。③の「アメリカ」の名称は、フィレンツェ出身の航海者アメリゴ＝ヴェスプッチに由来する。④のアステカ王国が征服されたのは1521年であり、当時のスペイン王はフェリペ2世（位1556～98年）ではなく、カルロス1世（位1516～56年）である。また、マゼラン（マガリャンイス）の艦隊の世界周航を援助したのもカルロス1世であった。

問3 12 ④が正しい。

④のアンリ4世がヴァロワ朝に代わってブルボン朝を建てたのは、ユグノー戦争中の1589年である。①の神聖ローマ皇帝カール4世による金印勅書の発布は1356年。同時期は百年戦争、教皇のバビロン捕囚の最中であったが、カール4世は教皇のローマへの帰還に尽力し、1377年にそれを実現させた。②の李成桂が高麗を倒して朝鮮（李朝）を建てたのは1392年。③のマルティン＝ルターが「95か条の論題（意見書）」を発表したのは1517年。東方では同年に、オスマン帝国のセリム1世がマムルーク朝を滅ぼしてエジプトを征服している。

B

問4 13 ③が誤り。

③のラジウムの発見はキュリー夫妻による。レントゲンが発見したのはX線（X放射線）である。①のエラトステネスはヘレニズム時代の天文学者で、地球の周囲の長さを測定した。②のコペルニクスはポーランドの聖職者・天文学者で、1543年に刊行された『天球回転論』で地動説を主張した。④のパグウォッシュ会議は科学者の国際会議で、1957年にカナダのパグウォッシュで第1回の会議が開催された。以後、科学者による核兵器禁止運動の中心的組織となった。

問5 14 ④が正しい。

④のメイフラワー号でアメリカに渡ったピューリタンの一団は、ピルグリム＝ファーザーズ（巡礼始祖）と呼ばれる。①のフランク国王クロヴィスが改宗したのは、ネストリウス派ではなく、ローマ教会のアタナシウス派キリスト教である。②のサンバルテルミの虐殺はユグノー戦争中の1572年に起こり、カトリック教徒側が多数のプロテスタント（ユグノー）を殺害した事件である。③のアダム＝シャルルは、明及び清で重用されたイエズス会宣教師。イエズス会は1534年に設立され、対抗（反）宗教改革に貢献した。中国の元とは時代が大きく異なる点に注意したい。

問6 15 ⑤が正しい。

a のアメリカ＝メキシコ戦争の勃発は 1846 年。b の門戸開放宣言は 1899・1900 年。c のモンロー宣言は 1823 年。したがって、年代の順番は c → a → b となる。3つの事項の正しい年代の順番を問う設問は解答番号 1・6 でも出題されているが、いずれも細かい年号まで記憶していなくても、歴史の大きな流れをつかんでいれば正解できるものである。モンロー宣言でヨーロッパとアメリカ大陸の相互不干渉を唱えた合衆国は西部開拓を進め、アメリカ＝メキシコ戦争に勝利してカリフォルニアなどを獲得して領土は太平洋岸に達した。1890 年にフロンティアの消滅が発表された後は、カリブ海地域や東アジアなど海外への進出を本格化させた。とくにカリブ海政策は、合衆国の帝国主義政策の典型例である。

C

問7 16 ①が正しい。

①の義浄は7世紀後半にインドに赴き、その旅行記として『南海寄帰内法伝』を著した。②のガンダーラ美術は、インドの仏教にヘレニズム文化におけるギリシア美術の要素が大きく影響を与えたもので、初めて仏像が造られた。③の大乗仏教の「大乘」は大きな乗り物を意味し、大乗仏教側が自ら名のつた名称である。これに対し、上座部仏教に対する大乗仏教側からの蔑称が「小乗仏教」である。④のチベットにおけるダライ＝ラマの宮殿はポタラ宮殿。トプカプ宮殿はオスマン帝国が都のイスタンブルに造営した宮殿である。

問8 17 ③が正しい。

a は誤文。b は正文。a の宋代に発展した地方小都市は鎮と呼ばれる。衛所は、明の洪武帝が定めた兵制の名称であり、衛所制では兵士を出す軍戸を定め、五千戸所が一衛とされた。b の郷紳は、科挙合格者で任官しない者や現職及び退職官僚で郷里に居住する地方の有力者である。明代に力を伸ばし、清代にも引き続いて地方において大きな影響力を保持した。

問9 18 ③が正しい。

③の白蓮教は阿弥陀信仰をもとに南宋初期に成立した仏教の一派で、元末期には紅巾の乱の中心勢力となり、また清代に起こした白蓮教徒の乱(1796～1804年)は、清朝衰退への転換点となった。①の殷の時代には、まだ仏教そのものが成立していない。②の徐光啓はマテオ＝リッチなどイエズス会宣教師と親交を結び、キリスト教に改宗した。④の焚書坑儒は前漢の武帝ではなく、秦の始皇帝が行ったことである。

第3問 世界史上の暦について (配点 25)

A

問1 19 ④が正しい。

④のドレフュス事件は、フランスのユダヤ系軍人のドレフュス大尉をドイツのスパイ容疑で有罪とした冤罪事件である。この事件はまた、ハンガリーのユダヤ系のジャーナリストであったヘルツルがシオニズムの運動を起こすきっかけになったことでも重要である。①のユダヤ教徒にとっての聖典は『旧約聖書』であり、ユダヤ教はイエスをメシア(救世主)とは見なさない。②のイスラエルの建国に反発したアラブ諸国は、第1次中東戦争(パレスチナ戦争)を起こした。③のドイツにおけるユダヤ系住民の強制収容所への収容は、1930年代から第二次世界大戦中にかけてナチス政権が行ったものである。

問2 20 ②が正しい。

ヒジュラ(聖遷)は、622年に②のようにムハンマドがメッカからメディナ(ヤスリブ)に移住したことを指す。以後、メディナでウンマ(イスラーム教徒共同体)が確立され、イスラーム発展の基礎ができた。①のムハンマドの誕生は570年頃で、メッカのハーシム家に生まれた。③のムハンマドが神から啓示を受けたことを自覚したのは610年頃。その後、その啓示をメッカで説き始めたが、迫害を受け、信者となるものは少数に留まった。④のムハンマドの死は632年である。

問3 21 ②が正しい。

②のヴェトナム戦争の費用はアメリカ合衆国の財政を圧迫し、ドルの信用を大きく低下させる一因となり、1971年のニクソン大統領による金とドルの交換停止の発表の背景となった。①の第2次マクドナルド内閣はイギリスの内閣。その年代は1929～31年で、当時のアイルランドは自治領のアイルランド自由国としてイギリスから承認されていた。③の地丁銀制を始めたのは清の康熙帝であり、次の雍正帝の治世に全国的に普及した。④の領主層を地税納入の責任者とする税制はライヤットワーリー制ではなく、ザミンダール制である。ここでいう領主層はザミンダールと呼ばれた。

B

問4 22 ②が正しい。

グレゴリウス暦は、1582年に教皇グレゴリウス13世が制定した太陽暦で、現在でも使用されている暦である。ユリウス暦はローマのカエサルが前46年に制定したもので、1年を365日とし、4年に1度閏日を入れた太陽暦である。これは以後長らく使われたが、4年に1度閏日を入れることでも地球の公転周期とわずかにずれが生ずるので、教皇グレゴリウス13世は400年間に3度閏日を省略するという方法でユリウス暦を修正した。

問5 23 ①が正しい。

①のフィリップ4世は、1302年にフランスの全国的な身分制議会としては最初のものである三部会（全国三部会）を開いた。また教皇のバビロン捕囚を始めるなど、教皇権に対するフランス王権の優位を示した王でもある。②のフランス革命後に復活した王朝は、ヴァロワ朝ではなくブルボン朝。③のルイ＝フィリップは七月革命の結果、王に即位した。④のフランス王フランソワ1世はヴァロワ朝の王で、彼が対立した神聖ローマ皇帝は、オットー1世ではなくハプスブルク家のカール5世である。

問6 24 ②が誤り。

②のロシアのストルイピンは、20世紀初めに首相（任1906～11年）としてミールの解体を図り、私有地の所有にもとづく富農を育成して帝政の支持基盤としようとしたが、あまり成果は上がらなかった。ミールの解体を図った背景には、第1次ロシア革命で当時の農民が帝政を支える基盤にならないことが明らかとなったことがあった。ミールについては、ナロードニキが革命の基盤として期待したことも合わせて記憶しておきたい。

C

問7 25 ③が正しい。

aは誤文。bは正文。aの『崇禎<sup>すうていれきしよ</sup>暦書』は明末期に徐光啓らが、イエズス会宣教師のアダム＝シャルラの協力を得て編纂<sup>へんさん</sup>した。李時珍<sup>りときちん</sup>は、明後期の1596年に薬物に関する総合書である『本草綱目』を著した人物である。bの授時暦は、元のフビライ＝ハンの命で郭守敬がイスラーム天文学の影響を強く受けて作成した太陰太陽暦である。後に江戸時代の日本で作成された『貞享暦』は、この授時暦を基礎としていた。

問8 26 ③が正しい。

中華民国は辛亥革命に際して、1912年1月に孫文を臨時大総統として南京で成立した。①の義勇軍の朝鮮への派遣は朝鮮戦争におけることで、これを派遣したのは中華人民共和国である。当時、中華人民共和国は台湾の中華民国と厳しい対立関係にあった。②の望厦条約の年代は1844年であり、これを結んだのは清朝である。これにより、アヘン戦争の講和条約である南京条約とほぼ同様の内容の特権をアメリカ合衆国も獲得した。④の科挙が廃止されたのは清朝末期の1905年のことである。

問9 27 ①が正しい。

①の劉少奇や鄧小平は、プロレタリア文化大革命で、資本主義を志向する「実権派（走資派）」として批判され失脚した。②の紅衛兵は、毛沢東を崇拜しプロレタリア文化大革命推進の尖兵となった青少年や学生たちの集団である。③の中ソ論争は、1956年のソ連共産党第一書記フルシチョフによるスターリン批判や平和共存政策に反発した中国とソ連との間で起こった基本路線をめぐる論争であり、これはプロレタリア文化大革命が起こる以前にすでに始まっていた。④の「土地に関する布告」は、ロシア革命で成立したソヴィエト政権が1917年11月に発表したものである。

#### 第4問 歴史上の異文化接触について (配点 25)

A

問1 28 ③が正しい。

ウイグルは744年に東突厥を滅ぼして建国し、③のように唐の安史の乱では反乱鎮圧のために唐に援軍を送った。①の西遼（カラ＝キタイ）を滅ぼしたのは、トルコ系遊牧民のナイマンである。②のササン朝と結んでエフタルを滅ぼしたのはトルコ系遊牧国家の突厥で、6世紀半ばのことである。その後、583年に突厥は東西に分裂した。④の燕雲十六州を領有したのは遼（契丹）である。遼（契丹）は、後唐に仕えた石敬瑭が後晋を建国するのを援助した代償として、万里の長城以南の地である燕雲十六州を後晋から獲得した。

問2 29 ④が誤り。

④の北米自由貿易協定（NAFTA）は、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの間で1992年に調印され、94年に発効した協定。社会主義体制を取るキューバがアメリカ合衆国を含む地域協定に入っているはずがないと見当をつけても、正解は得られる。①の市舶司は唐代半ばに広州に初めて設置された貿易管理のための役所であるが、宋では泉州、杭州、明州その他の都市にも置かれ、整備された。宋が市舶司を「初めて」設置したとは書かれていないので、①の文も内容的には正しい。

問3 30 ④が正しい。

地図中の a はファーティマ朝・b はセルジューク朝のおおよその領域である。設問文の「スンナ派」で「トルコ系」のイスラーム王朝という条件のいずれにもファーティマ朝は当てはまらない。ファーティマ朝は過激シーア派のイスマール派が北アフリカ（現在のチュニジア）に 909 年に建てた王朝で、当初からカリフを名のり、10 世紀後半にエジプトを征服して都カイロを建設した。セルジューク朝は「スンナ派」でかつ「トルコ系」のイスラーム王朝であり、1055 年にバグダードに入城してアッバース朝のカリフからスルタンの称号を授けられ、政治的実権を握った。

B

問4 31 ③が正しい。

③のフランコはスペイン内戦（1936～39 年）で反乱軍を率い、人民戦線政府側との戦いに勝利して独裁体制を確立した。①のフランス軍がゲリラ戦に苦しんだというのは、イベリア半島に侵攻したナポレオン 1 世の軍に反抗して起こった半島戦争（スペイン独立戦争）（1808～14 年）でのことで、時代が異なる。②のスペイン内戦では、ドイツとイタリアはフランコの反乱軍を支援した。不干渉政策を取ったのはイギリスとフランスである。④のアメリカ合衆国にフィリピンを奪われたのは、1898 年のアメリカ＝スペイン（米西）戦争に敗北した結果であり、20 世紀の出来事に該当しない。

問5 32 ④が誤り。

④の『ニーベルンゲンの歌』は、スラヴではなくゲルマンの伝説にもとづくドイツの英雄叙事詩である。これがドイツの中世文学であることがわかっているならば、「スラヴの英雄叙事詩に基づいている」という選択肢の文はおかしいと見当をつけることができよう。①のカール大帝の学芸奨励は、聖職者に古典を模範とする正しいラテン語の知識を普及することを主たる目的としたもので、この文化運動はカロリング＝ルネサンスと呼ばれる。

問6 33 ②が正しい。

a は正文。b は誤文。a の農奴は保有地（農民保有地）での収穫物の一定部分を貢納として領主に納め、また直営地（領主直営地）での労働である賦役を領主に対して行う義務を負った。b の同職ギルドは業種ごとの手工業者のギルド（組合）であるが、ここでは生産量や販売価格などが厳重に規制され、またギルドの正規組合員になれるのは親方のみで職人や徒弟はその資格をもたないなど、ギルドの親方層の利益が保護され、自由競争は排除された。

C

問7 34 ②が正しい。

アにはウルドゥー語、イにはシャー＝ジャハーンが入る。アのウルドゥー語はリード文に記されているように、北インドの地方語（パンジャーブ地方からデリー周辺にかけての地域で話されていた言語）に、ペルシア語やアラビア語などの語彙が取り入れられて形成されたもので、現在のパキスタンの国語にもなっている。イのシャー＝ジャハーンはムガル帝国第5代皇帝（位 1628～58年）で、亡き妃のための墓廟としてタージ＝マハルを造営した。①イ・③イのアイバクは奴隷王朝の創始者。③ア・④アのタミル語は南インドのドラヴィダ系言語の一つである。

問8 35 ①が正しい。

①のメフメト2世によるコンスタンティノープル占領は1453年で、これによりオスマン帝国はビザンツ帝国を滅ぼした。同年の西ヨーロッパでは百年戦争が終結し、この1453年はヨーロッパの中世と近代を分ける年とも見なされている。②の2度にわたる元の日本への侵攻（元寇）は13世紀後半。③のアメリカ独立戦争の開始は1775年。レキシントンの戦い（レキシントン＝コンコードの戦い）が独立戦争の発端となった。④のスウェーデン王グスタフ＝アドルフの三十年戦争への参戦は1630年。スウェーデン軍は連戦連勝したが、王は1632年のリュッツェンの戦いで戦死した。

問9 36 ①が正しい。

a・bともに正文。aのヴィジャヤナガル王国は14～17世紀に南インドを支配したヒンドゥー王国。ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマがインド西南岸の港市カリカットに到達したときに、南インドを支配していた王国でもある。bのマドラスはインド東南岸に位置し、1639～40年にイギリス東インド会社がここに要塞を築いたのが起源で、インド西海岸のボンベイ、ベンガル地方のカルカッタと並んでイギリスのインドにおける三大拠点の一つとされた。